

嶋田美子

- 1959 東京都立川市生まれ
1977 東京都立国立高等学校卒業
1982 アメリカ・カリフォルニア州、スクリプス・カレッジ卒業
2015 イギリス・ロンドン、キングストン大学にて博士号取得（美術／美術史）

主な個展

- 2023 「おまえが決めるな！」 オオタファインアーツ
2006-10 「Bones in Tansu - Family Secrets」 Stanley Picker Gallery、キングストン大学、ロンドン、イギリス／The Print Studio、ハミルトン、カナダ／Galleri Christina Wilson、コペンハーゲン、デンマーク／チェンマイ大学美術館、タイ／Cemeti Art House、ジョグジャカルタ、インドネシア／フィリピン大学、マニラ、フィリピン
2002 「じえいたいのおんな」 オオタファインアーツ、東京
2001 「Korean Family Photographs」 Center A、バンクーバー国際現代アジアアートセンター、カナダ
2000 「嶋田美子展： ジェンダー、イメージ、ネーション」 京都精華大学ギャラリーフロール、京都
1999 個展、Asias/Pacific/American Institute、ニューヨーク大学、アメリカ
1998 「メイド・イン・オキュパイド・ジャパン」（ブブ・ド・ラ・マドレーヌとのコラボレーション） オオタファインアーツ、東京
1997 「Divide and Rule: Yoshiko Shimada」 A Space Gallery、トロント、カナダ
「Yoshiko Shimada: Female positions」 John Batten Gallery、香港
個展、Hiraya Gallery、マニラ
1996 「嶋田美子」 慶応義塾大学アートセンター、東京
「Female Identity 女はどう表現されてきたか」 岡山県立美術館、岡山
「愛の労働」 オオタファインアーツ、東京
1995 個展、Künstlerhaus Bethanien、ベルリン
「嶋田美子」 オオタファインアーツ、東京
1993 「Past Imperfect」 タニシマギャラリー、東京

主なグループ展

- 2025 「ベルリン・ビエンナーレ: passing the fugitive on」 ベルリン
「『元始女性は太陽だった』のか？」 KOTARO NUKAGA Three、東京
「CAMP」 オオタファインアーツ、東京
2024 「ゲバルト：制度の暴力に対する抵抗の変遷」 東京日仏学院、東京
2022 「Fanatic Heart」 Para-Site、香港

- 「Magma Vivo: nell'arte contemporanea giapponese」 クマ考古学公園、ナポリ、イタリア
- 「越境—収蔵作品とゲストアーティストがひらく視座」 京都精華大学ギャラリーTerra-S、京都
- 「桜を見る会」 eitoeiko、東京
- 2021 「Spirit Labor: Duration, Difficulty, and Affect」 Garage 現代美術館、モスクワ、ロシア
- 「表現の不自由展かんさい」 エルおおさか、大阪
- 2020 「表現の不自由展 A Long Trail for Liberation」 台北当代美術館、台湾
- 2019 「Japan Unlimited」 frei_raum Q21、MuseumsQuartier ウィーン、オーストリア
- 「表現の不自由展・その後」 あいちトリエンナーレ、愛知県美術館、愛知
- 2017 「Asian Diva: the Muse and Monster」 ソウル市立美術館、韓国
- 2015 「Beyond Hiroshima: The Return of the Repressed」 テルアビブ大学アートギャラリー、イスラエル
- 2014 「松澤宥『最終美術思考工房』世界蜂起展 ～22 世紀に向けた新世界蜂起計画のプロジェクト～」 文房堂ギャラリー、東京
- 「遠足プロジェクト」 カナダ大使館高円宮記念ギャラリー、東京
- 2012 「Art, Performance and Activism in Contemporary Japan」 Pump House Gallery、ロンドン
- 「Unveiling the Truth: the Sorrow and Hope of 'Comfort Women」 Mason Gallery、ジョージ・メイソン大学、ヴァージニア、アメリカ
- 2010 「介入の芸術、現在—ロンドン&京都」 京都精華大学ギャラリーフロール、京都
- 「Louder than Bombs – Art, Action & Activism」 Stanley Picker Gallery、キングストン大学、ロンドン、イギリス
- 2009 「The 10th OPEN International Performance Art Festival」 798 Art District、北京、中国
- 2008 「Sophie Calle / Yoshiko Shimada」 Galleri Christina Wilson、コペンハーゲン、デンマーク
- 2007 「Felt Experience」 Catalyst Arts、ベルファスト、北アイルランド
- 「Shanghai eARTs Festival - Doll House」 徐匯美術館、上海、中国
- 2006 「Mapping the Body: body dialectics by women artists from Asia」 National Review of Live Art Festival、Tramway、グラスゴー、スコットランド
- 「SEXWORK - Kunst Mythos Realität」 neue Gesellschaft für bildende Kunst、ベルリン、ドイツ
- 2005 「Fantastic Asia - New Relations within the Invisible Borders」 Sungkok Art Museum、ソウル、韓国
- 「MOT アニュアル 2005 愛と孤独、そして笑い」 東京都現代美術館、東京
- 2004 「Borderline Cases—境界線上の女たちへ」 A.R.T.、東京
- 2003 「City_net Asia」 ソウル市立美術館、ソウル、韓国

- 「Seoul-Asia Art Now, Modernization & Urbanization」 Marronnier Art Center、ソウル、韓国
- 2002 「熊本国際美術展：ATTITUDE 2002ー心の中の、たったひとつの真実のために」熊本市立現代美術館、熊本
- 「The 2nd Women's Art Festival: East Asian Women and Her Stories」 Women's Community Center、ソウル、韓国
- 「THERE: Sites of Korean Diaspora」 光州ビエンナーレ・プロジェクト 2、韓国
- 2001 「Sex and Consumerism」 ブライトン大学、ブライトン、イギリス／Aberystwyth Arts Centre、Aberystwyth、ウェールズ／Stanley Picker Gallery、キングストン大学、ロンドン、イギリス／Hotbath Gallery、バース・カレッジ、バース、イギリス
- 「Tribu dell'Arte」 Galleria Comunale d'Arte Moderne e Contemporanea、ローマ、イタリア
- 2000 「Twilight Sleep」 Istituto Giapponese di Cultura、ローマ、イタリア
- 「Empathy」 Galerie im Körnerpark、ベルリン、ドイツ
- 「崇高と労働」板橋区立美術館、東京
- 「the SPIRITS play」 TheatreWorks、シンガポール
- 「Dark Mirrors of Japan」 De Appel、アムステルダム、オランダ
- 「Yume no Ato -Was rom Traum blieb」 Haus am Waldsee、ベルリン／Staatliche Kunsthalle、バーデン・バーデン、ドイツ
- 1999 「嶋田美子、ガザル・ラドペイ 2 人展」 Kunsthau Tacheles、ベルリン、ドイツ
- 「1999: P.S.1 Studio Program Exhibition」 Clocktower Gallery、ニューヨーク、アメリカ
- 「Windows - inside, outside」 光州市立美術館、韓国
- 1998 「加害／被害」板橋区立美術館、東京
- 1997 「ドキュメント・アンド・アート：Art by Xerox」 アート・ミュージアム・ギンザ、東京
- 「Lord of the Rim - in herself, for herself」 新莊芸術文化センター、台湾
- 「水戸アニュアル'97 しなやかな共生」水戸芸術館現代美術ギャラリー、茨城
- 1996 「ジェンダー 記憶の淵から」東京都写真美術館、東京
- 1995 「Age of Anxiety」 The Power Plant、トロント、カナダ
- 1994 「女性の声 Voices of women：嶋田美子、リサ・デール・ミラー、小林テレサ」堺町画廊、京都／ギャラリーX | シアターX、東京
- 1992 「日本版画協会 第 60 回版画展」東京都美術館、東京
- 「My Eyes Blur Sometimes, at Beauty」 Asian American Art Centre、ニューヨーク、アメリカ
- 1986 「9th British International Print Biennale」 Cartwright Hall、ブラッドフォード、イギリス

主なパフォーマンス

- 2023 「Long Live the Short-Lived」 Ebenböckhaus、ミュンヘン、ドイツ
- 2019 「日本人慰安婦像になってみる」在韓日本大使館前、ソウル、韓国
- 2018 「日本人慰安婦像になってみる」カリフォルニア州グレンデール、アメリカ
- 2012- 「日本人慰安婦像になってみる」在英日本大使館前、ロンドン、イギリス／靖国神社前、東京／国会議事堂前、東京

キュレーション

- 2025 「Disappearing Body – Becoming Tsujimura」 HEIRLOOM、コペンハーゲン
- 2022 「諏訪の松澤宥」（共同企画）諏訪湖博物館、長野
- 2017 「ニルヴァーナからカタストロフィーへ — 松澤宥と虚空間のコミューン」 オオタファインアーツ、東京 [カタログ]
- 2015 「中島由夫シンドローム」 アツコバラー、東京 [カタログ]
- 2014 「世界蜂起 2014」（共同企画）文房堂ギャラリー、東京
- 2013 「Anti-Academy 叛・アカデミー：変革の時代の芸術と教育」 John Hansard Gallery、サウサンプトン、イギリス [カタログ]

レジデンス、受賞

- 2023 ミュンヘン市のプログラムにより、ミュンヘン Ebenböckhaus にてアーティスト・イン・レジデンス
- 2019 Asian Cultural Council インターアジア助成金を得て、香港にてレジデンス
バンクーバー、ブリティッシュ・コロンビア大学にてレジデンス
- 2018 香港 Asia Art Archive にてリサーチ・レジデンス
- 2008-10 ブリティッシュ・カウンシル PM3 アワードの受賞により、ロンドンにてレジデンス
- 2008-09 デンマーク・アーツ・カウンシル／スカンジナビア・ニッポン ササカワ財団の助成金を得て、コペンハーゲンにてレジデンス
- 2006- 7 日本財団 API (Asian Public Intellectuals) シニア・フェローシップ助成金を得て、マニラ、チェンマイ、ジョグジャカルタにてレジデンス
- 2006 デンマーク・アーツ・カウンシル DIVA プログラムにより、コペンハーゲンにてレジデンス
- 1998-99 Asian Cultural Council の助成金を得て、ニューヨーク P.S.1 Contemporary Art Center にてレジデンス
- 1995 ベルリン市 Woman Artists Programme 賞
- 1994 ベルリン Künstlerhaus Bethanien にてレジデンス

主なシンポジウム、カンファレンス、トーク、

- 2021 「Radical Spiritualism」(オンライン・シンポジウム・プロジェクト)
- 2019 「Conceptualism and Materiality : Matters of Art and Politics」(出版記念カンファレンス)、The Courtauld Institute of Art、ロンドン、イギリス
- 2018 「Engaged Critic, Radical Art」(ヨシダ・ヨシエ・コレクション開設記念シンポジウ

- ム)、UCLA, Charles E. Young Research Library、ロサンゼルス、アメリカ
- 2016 「Art and politics in Japan - Conference: Anti-authoritarian movements in post-war Japan.」(カンファレンス)、コペンハーゲン大学、デンマーク
- 「中島由夫シンドローム」(展覧会記念シンポジウム)、アツコバラー、東京
- 2013 「Anti-Academy 叛・アカデミー：変革の時代の芸術と教育」(展覧会記念シンポジウム) John Hansard Gallery、サウサンプトン、イギリス
- 2009-10 「介入の芸術、現在—ロンドン&京都」キングストン大学(英)と京都精華大学の芸術共同研究プロジェクト
- 2004 「Borderline Cases—境界線上の女たちへ」(展覧会記念シンポジウム) 慶応義塾大学、東京
- 「ディアスポラ・アートの現在 コリアン・ディアスポラを中心に」(国際学術シンポジウム)、東京経済大学、東京
- 2002 「コリアン・ディアスポラ—交差する多様な表現」(シンポジウム)、立命館大学、京都
- 2002 「Conflict and Collaboration (軋轢と協調) ~“エンパシー”展の成り立ち」(「エンパシー」シンポジウム)、京都精華大学、京都

主な著作、出版

- 2023 「おまえが決めるな！—東大で留学生が学ぶ《反＝道徳》フェミニズム講義」著、白順社
- 「Art and Street Politics in the Global 1960s: Yoshio Nakajima and the Global Avant-Garde」William Marotti 編、Routledge
- 2022 「応答せよ！絵画者—中村宏インタビュー」編・著、白順社
- 2020 「The Red Years: Theory, Politics, and Aesthetics in the Japanese '68」Gavin Walker 編、Verso
- 2019 「Conceptualism and Materiality」Christian Berger 編、BRILL
- 2017 「ニルヴァーナからカタストロフィーへ — 松澤宥と虚空間のコミュニケーション」編・著、オタファインアーツ
- 2014 「中島由夫シンドローム」, 編・著、中島由夫シンドローム展実行委員会
- 2013 「Anti-Academy」Joan Giroux、Alice Maude-Roxby 編、John Hansard Gallery

パブリックコレクション

東京国立近代美術館

東京都現代美術館

ニューヨークパブリックライブラリー

ニューヨーク市立大学

東京都写真美術館

慶応義塾大学アートセンター

京都精華大学